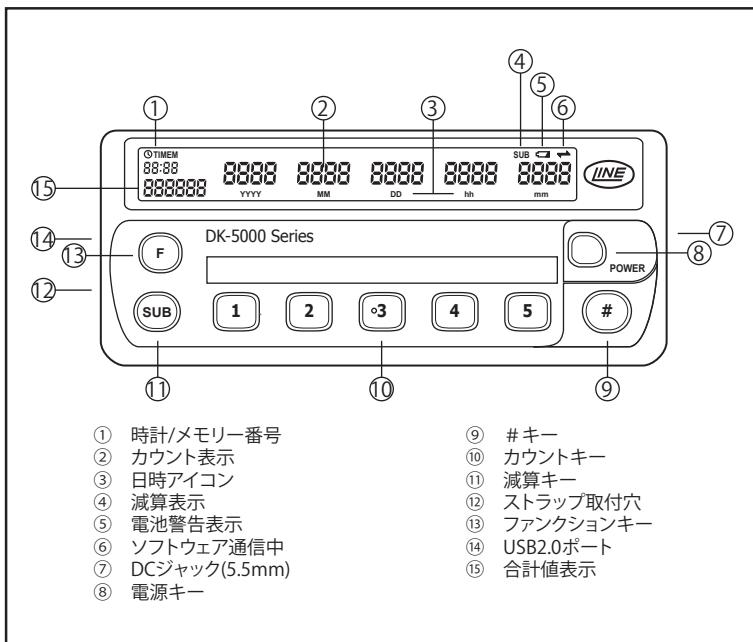


■DK-5005C 各部名称



■ご使用の前に

【日時の設定】

- 電源キー(⑧)を1秒間押して、電源を入れてください。

電源投入時はスタンバイモードです。画面に「stnd by」と表示されます。

- (F)キー(⑬)を押したままカウント①キーを押してください。

日時の設定モードになります。

- 日時の設定モードの表示画面は、下図のようになります。

「年年年年 月月 日日 時時 分分」の形式で日時が表示されます。



- 各カウントキー(⑩)を押すたびに各数値が増数します。

①=年 ②=月 ③=日 ④=時 ⑤=分

⑯キー(⑪)を押しながら各カウントキー(⑩)を押すと、各数値が減数します。

- 任意の日時の入力が終了したら、(F)キー(⑬)を押してください。

日時の設定画面が終了し、スタンバイモードに戻ります。

- レコードの記録を開始する場合は、<■レコードの記録>をお読みください。

電源を切る場合は、電源キー(⑧)を3秒間押してください。

※ ご注意ください

電源の供給が断たれると内蔵されている時計が停止します。次回ご使用の際には、**日時の再設定が必要**となります。時計の停止を防ぐためには、電池をご使用ください。

電池を内蔵した状態で、AC/DCアダプタやUSB電源でご使用される場合、電力は電池から供給されず、電池は消耗しません。

そのため、AC/DCアダプタやUSB電源でご使用される場合でも、常に電池を併用されることをおすすめ致します。

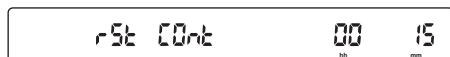
■ログデータ記録間隔の設定

- 電源キー(⑧)を1秒間押して、電源を入れてください。

電源投入時はスタンバイモードです。画面に「stnd by」と表示されます。

- (F)キー(⑬)を押したまま④キーを押してください。

- ログデータ記録間隔の設定モードになります。以下画面が点滅表示されます。



記録方法の設定を行います。設定内容に対応するカウントキーを押してください。

rst : データ記録後にカウント値「0(ゼロ)」にリセット

Cont : データ記録後にカウント値を継続させる

①=rst ②=Cont

- ログデータ記録間隔の時間設定を行います。対応するカウントキーを押してください。

④=時 ⑤=分

⑯キー(⑪)を押しながら各カウントキー(⑩)を押すと、各数値が減数します。

- 再度(F)キー(⑬)を押すと設定が終了し、スタンバイモードに戻ります。

■レコードの記録

本器は、最大250レコードを記憶できます。(1レコードあたりのデータ数が192個の場合)

1レコードとは、レコード開始から終了までのデータの集合体となります。

データとは、5個のカウンターのカウント値とその合計値を日時と共に記録したデータのことです。

1データ=(各カウンターのカウント値)+(5個のカウンターの合計値)+(日時)

- 電源キー(⑧)を1秒間押して、電源を入れてください。

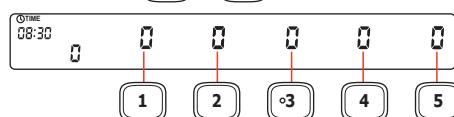
電源投入時はスタンバイモードです。画面に「stnd by」と表示されます。

- (#)キーを1秒間押すと、レコードモードになり記録を開始します。

- 5個のカウンターのカウント値とその合計値、および時刻が表示されます。



- カウントキー(⑩)①～⑤を押すたびに、各カウンターの数値が増数します。



(SUB)キー(⑪)を押しながら各カウントキー(⑩)を押すと、各数値が減数します。

- レコードモード中に再度、(#)キーを1秒間押すとレコード終了となり、

スタンバイモードに戻ります。

DK-5005C スタートガイド

■記録したレコードの確認

- [F] キー(⑬)を押したまま入力 [3] キーを押してください。

●レコードの呼び出しモードになり、最後に記録したレコードの最終値が表示されます。

レコードがない場合は、「no data」と表示されます。

【レコードがない場合】

no data

【レコードがある場合】

MEM
0001 2014 10 01 08 30
YYYY MM DD hh mm

最後に記録したレコード内の最終値の日時が表示されます。

- ⇒入力値を表示させる : [4] キーを押してください。
- ⇒日時を表示させる : [3] キーを押してください。
- ⇒ひとつ前のレコードを表示 : [2] キーを押してください。
- ⇒ひとつ後のレコードを表示 : [1] キーを押してください。

- 再び [F] キー(⑬)を押すとスタンバイモードに戻ります。

■記録したレコードの全消去

- 必ず、スタンバイモードにて操作をおこなってください。

- [F] キー(⑬)を押したまま入力 [3] キーを押して、
レコードの呼び出しモードに入ります。

- [5] キーを押して、全消去モードに入ります。
全消去の確認画面が表示されます。

ALL CLR YES no

【YES(レコードを全消去する)の場合】

- ⇒ [4] キーを1秒押してください。

YESが選択され、全レコードが消去されます。

全レコードの消去後、レコードの呼び出しモードに戻ります。

「no data」表示により、レコードが無いことを確認してください。

no data

全レコード消去中、「All data ----- Clear」と表示されます。

ALL data ----- CLR

- [F] キー(⑬)を押すとスタンバイモードに戻ります。

【NO(レコードを消去しない)の場合】

- ⇒ [5] キーを1秒押してください。

レコードは消去されず、レコード呼び出しモードに戻ります。

- [F] キー(⑬)を押すとスタンバイモードに戻ります。

■キー操作一覧

目的	キー操作
電源 ON	電源キー(⑧)1秒間
電源 OFF	電源キー(⑧)3秒間
日時の設定開始	[F] + [1]
スタンバイ画面へ戻る	[F]
レコードの記録開始	[#]1秒間
レコードの記録終了	レコードの記録開始中に再度[#]1秒間
記録したレコードの確認	[F] + [3]
カウント値の確認	[F] + [3]→[4]
日時の確認	[F] + [3]→[4]→[3]
ひとつ前のレコードの確認	[F] + [3]→[2]
ひとつ後のレコードの確認	[F] + [3]→[1]
記録したレコードの全消去	[F] + [3]→[5]→[4]1秒間
データ記録方法(カウント値リセットあり)	[F] + [4]→[1]
データ記録方法(カウント値リセットなし)	[F] + [4]→[2]
データ記録間隔設定(時間設定)	[F] + [4]→[4]
データ記録間隔設定(分設定)	[F] + [4]→[5]

■さいごに

DK-5005Cで記録したレコードをご使用のパソコンに取り込むことで、

データ管理・編集をパソコン上で行えます。

そのほか、非常に便利な機能も搭載しておりますので、当社ウェブサイトより

DK-5000シリーズ専用ソフトウェアをダウンロード(無償)の上、是非お役立てください。

当社ウェブサイト:<https://lineseiki.heteml.jp/mieruzzo.com/jp/DKform/>